

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2002-512685(P2002-512685A)

【公表日】平成14年4月23日(2002.4.23)

【出願番号】特願平10-534532

【国際特許分類第7版】

G 01 N 33/566

A 61 K 31/165

A 61 K 31/17

A 61 K 31/655

A 61 K 38/00

A 61 K 45/00

A 61 P 3/10

A 61 P 43/00

C 07 K 14/72

C 12 N 15/09

C 12 Q 1/48

C 12 Q 1/54

G 01 N 33/15

G 01 N 33/50

G 01 N 33/543

G 01 N 33/577

【F I】

G 01 N 33/566

A 61 K 31/165

A 61 K 31/17

A 61 K 31/655

A 61 K 45/00 Z C C

A 61 P 3/10

A 61 P 43/00 1 1 1

C 07 K 14/72

C 12 Q 1/48 Z

C 12 Q 1/54

G 01 N 33/15 Z

G 01 N 33/50 Z

G 01 N 33/543 5 7 5

G 01 N 33/577 A

A 61 K 37/02

C 12 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年 1月 6日

特許庁長官殿

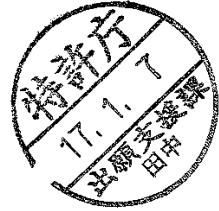


1. 事件の表示

平成10年特許願第534532号

2. 補正をする者

氏名（名称） テリック・インコーポレイテッド



3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葵



4. 補正対象書類名 明細書、請求の範囲および図面

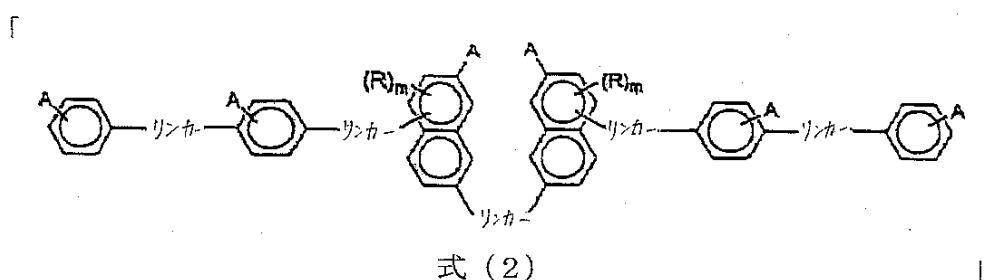
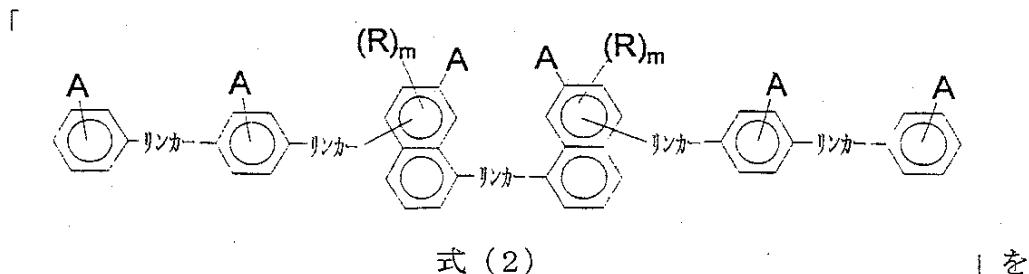
5. 補正対象項目名 明細書、請求の範囲ならびに図4Aおよび図11



6. 補正の内容

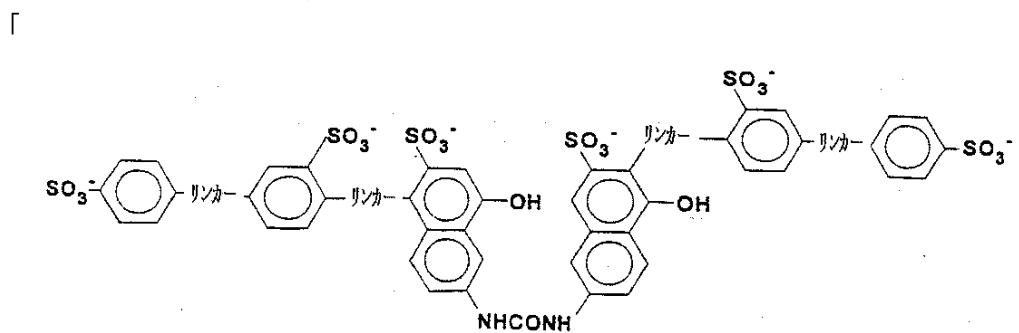
(1) 明細書

i) 8頁1~2行および23頁下から10~11行、

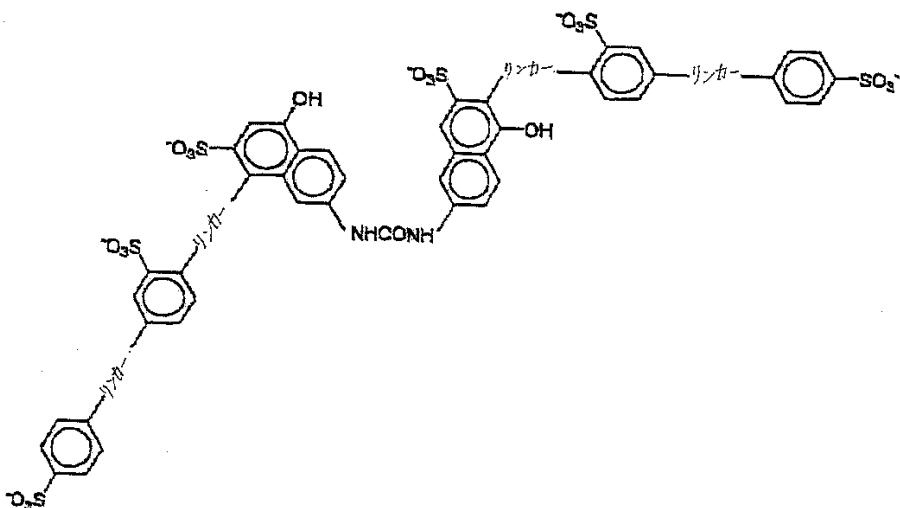


と補正する。

ii) 25頁6~7行、



「



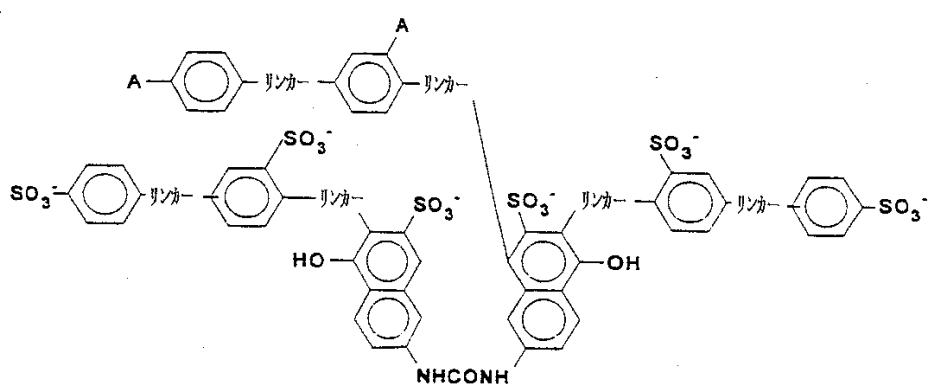
(2B)

」

と補正する。

iii) 25頁下から2~3行、

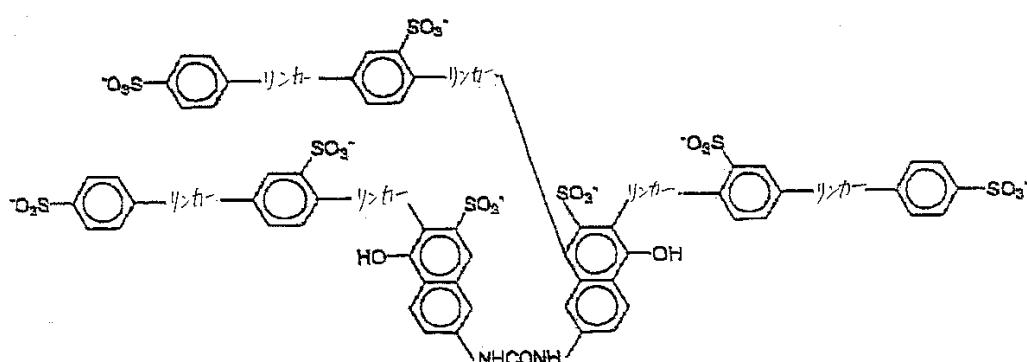
「



(2C)、例えばTER17005

」を

「



(2C)、例えばTER17005

」

と補正する。

i v) 22頁下から9行、24頁7行および26頁下から5行、「炭化水素基」を「ヒドロカルビル基」と補正する。

v) 22頁5行および26頁下から14行、「O P (O X)₂」を「O P (O X)₃」と補正する。

v i) 26頁2~3行、「特に好ましいのは、TER 16998であり、その化合物は本明細書の図8Aおよび図8Bに示されている。」を「特に好ましいのは、TER 16998および本明細書の図8Aおよび図8Bに示されている化合物である。」と補正する。

(2)請求の範囲

別紙の通り。

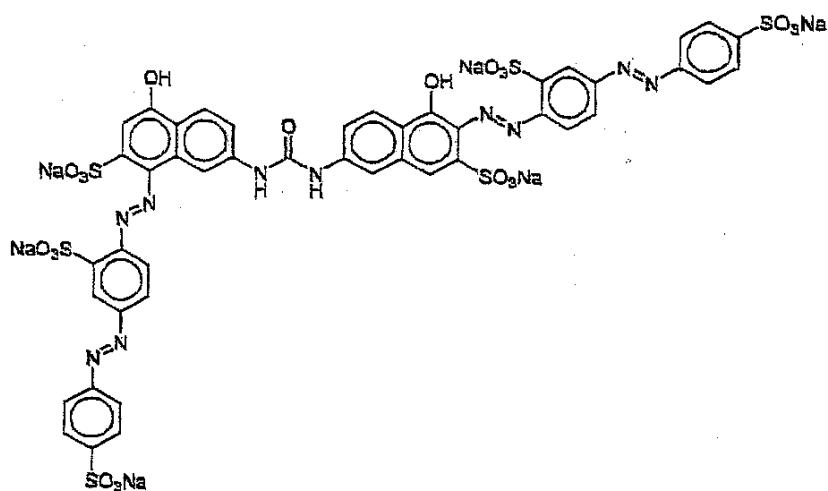
(3)図面

図4Aおよび図11を別紙の通り補正する。

(別紙)

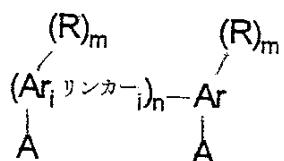
請求の範囲

1. 式：



で示される化合物。

2. 治療有効量の請求項1に記載の化合物および少なくとも1種の医薬的に許容しうる賦形剤を含む医薬組成物。
3. 糖尿病患者における血中グルコースを低下させる医薬の製造における、式(1)：



(1)

[式中、各A_rは独立して、ベンゼン、ナフタレン、ピリジン、キノリンまたはベンゾチアゾールから選ばれる芳香族残基；

各Aは独立して、-SO₃X、-OP(OX)₃および-COOH(ここで、Xは水素原子またはカチオン)；

各Rは独立して、分枝または非分枝の環式、芳香族または非芳香族の置換また

は非置換ヒドロカルビル部分(ここで、非分枝ヒドロカルビル鎖は、1つまたはそれ以上のO、NまたはSで中断されてもよい)；または各Rは独立して、-OR'、-NR'₂または-SR'(ここで、R'はHまたは前記のRと同意義)；

mは0、1または2；

nは1、2、3、4、5または6；および

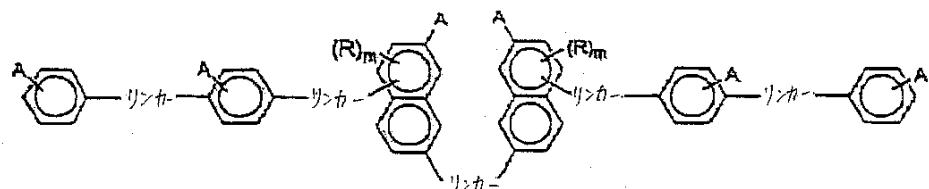
各リンカーは独立して、-CH₂-、-N=N-、-CH=CH-、-NHCO-

O-または-NHCONH-もしくはその等量式である；

ただし、nが1である場合、少なくとも1つのArが少なくとも2つの縮合芳香族環を含まねばならない]

で示される化合物の使用。

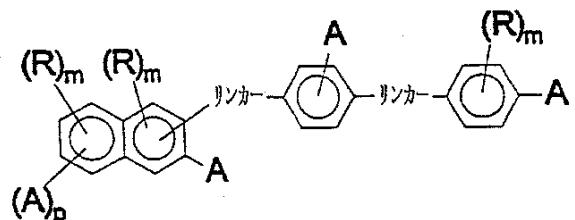
4. 式(1)の化合物が、式(2)：



(2)

[式中、各A、R、mおよびリンカーは請求項3と同意義]
で示される化合物である請求項3に記載の使用。

5. 式(1)の化合物が、式(3)：



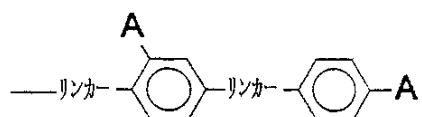
(3)

[式中、各A、R、mおよびリンカーは請求項3と同意義、およびpは0または1である]

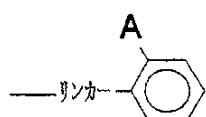
で示される化合物である請求項3に記載の使用。

6. mが0または1；nが4、5または6；および各リンカーが独立して、 $-CH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-NHCO-$ またはその等量式である請求項3に記載の使用。

7. 各Rが独立して、OHまたは



または



[式中、Aおよびリンカーは請求項3と同意義]

である請求項4または5に記載の使用。

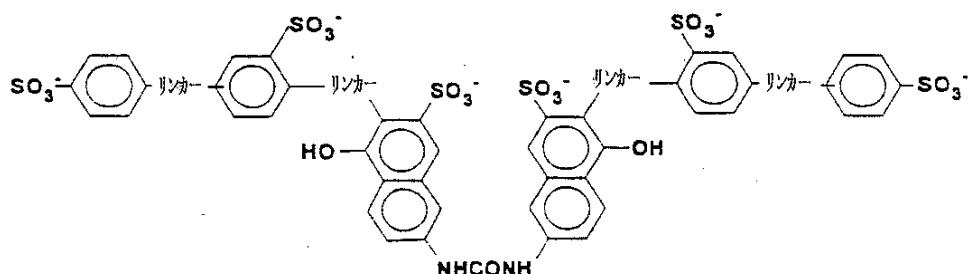
8. mが0または1および各RがOHである請求項4または5に記載の使用。

9. 各Rが独立して、C₁₋₆アルキルである請求項3または6に記載の使用。

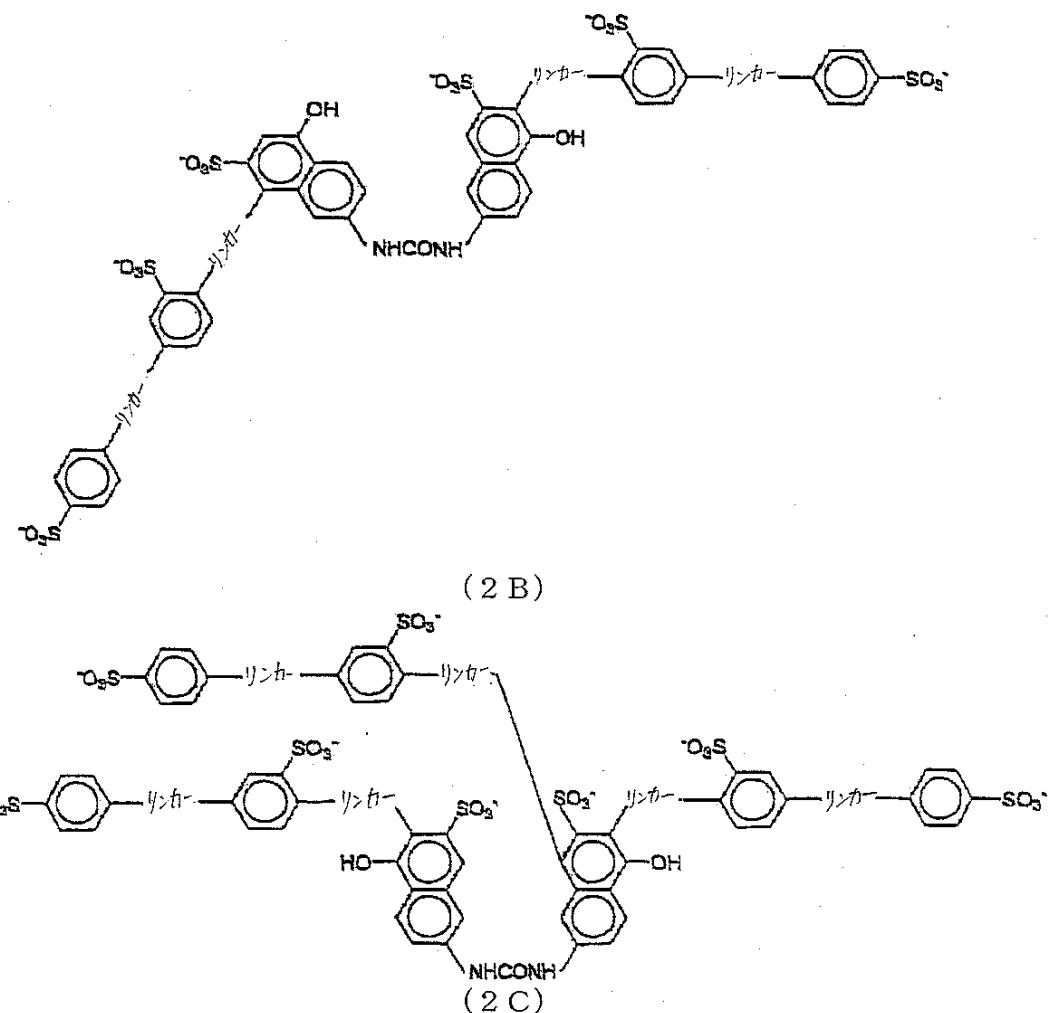
10. 各Aが独立して、 $-SO_3X$ または $-COOX$ (ここで、Xは水素原子またはカチオン)である請求項3～9のいずれかに記載の使用。

11. すべてのmが0である請求項3～10のいずれか1つに記載の使用。

12. 式(2)の化合物が、式(2A)、式(2B)または式(2C)：



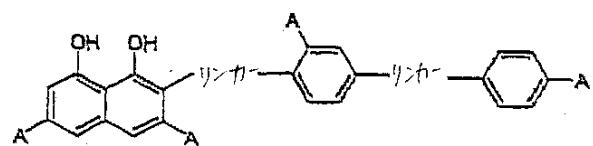
(2A)



[式中、各リンカーは独立して、 $-N=N-$ または $-NHCO-$]

である請求項4に記載の使用。

13. 式(3)の化合物が、式：



[式中、各Aは独立して、 $-SO_3X$ または $-COOX$ (ここで、Xは水素原子またはカチオン)；および各リンカーは独立して、 $-CH=CH-$ または $-NHCO-$ である]

である請求項5に記載の使用。

(別紙)

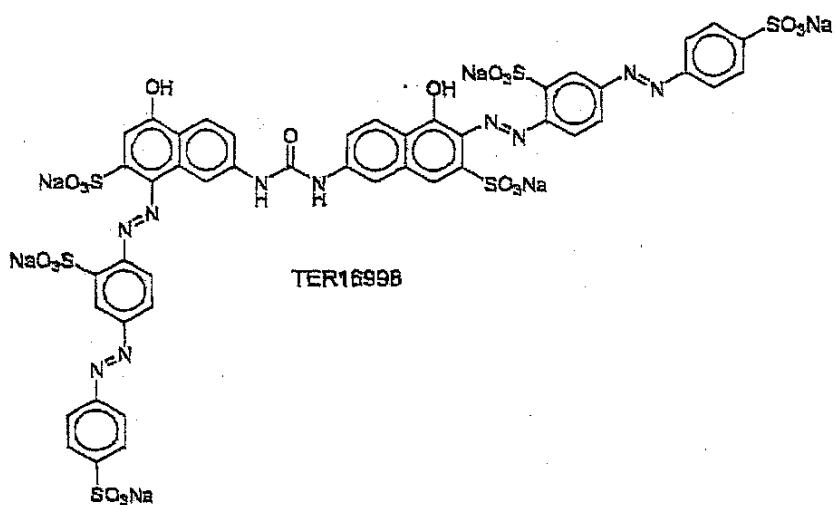


FIG. 4A

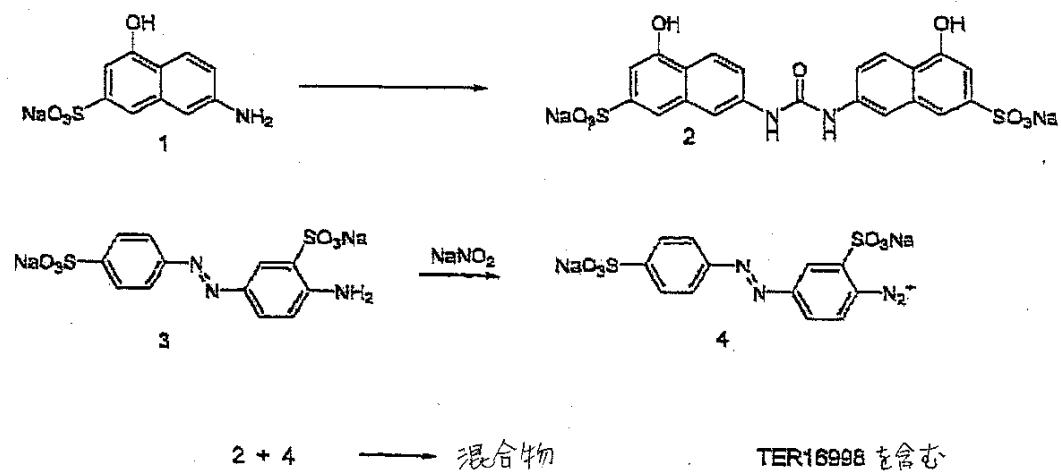


FIG. 11